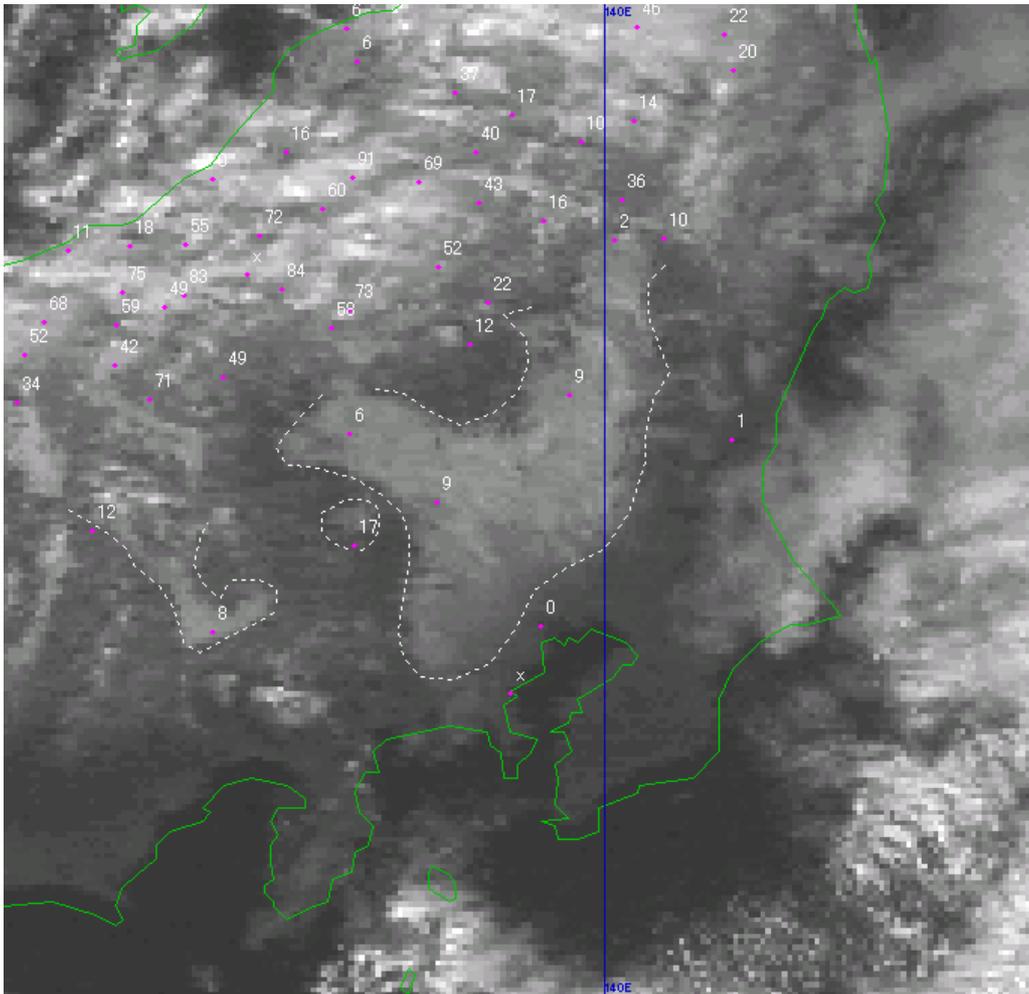


今月の気象衛星画像 (2005年1月)



2005年1月1日午前11時の可視画像
数値：午前11時の積雪(cm)

元日の雪景色

写真は2005年1月1日午前11時の可視画像である。関東地方の平野部を中心に灰白色の部分が見られる(破線)。これは前日大晦日、低気圧が関東の南沖を通過した際にもたらした積雪である。低気圧に伴う雲は房総半島の一部に残っているものの全般的に関東平野の上空はよく晴れており積雪の様子がよくわかる。積雪は太陽光の反射強度が大きいため可視画像では白色域として表現される。積雪表面は比較的滑らかで、融解などによる変形は非常に緩やかなので雲域との識別は容易である。なお、関東山地など山間部に積雪がないように見えるが、これは草や樹木の植生等により積雪の反射が妨げられたためと考えられる。

通過した低気圧の中心に近かった関東南部や東部では雪から雨に変わったり、雨だったため積雪のあった地方も雪解けが早く、この時間積雪はほとんど確認できない。東京では前日積雪2cmを観測したが、この日午前中に消滅した。

(気象衛星センター)